

紹介予約コールセンターを利用した新患者の
診療情報提供書 FAX 送信（試験運用）について（中間報告）

1. 試験運用の目的

紹介予約コールセンターを利用した新患者について、受診前に診療情報提供書を取り寄せ、当院外来診療の更なる円滑化に向けた検討を行うこと。

2. 対象患者及び試験運用手順

- (1) 対象患者：当院紹介コールセンター経由で「消化器内科」宛てに紹介した患者。
- (2) 試験運用手順

患者が当院の紹介予約コールセンターで受診予約を取得後、当院医療連携室から紹介先医療機関（下記 13 医療機関）へ診療情報提供書 FAX 送信の依頼を行う。

3. 対象医療機関（13 医療機関）

- (1) 仙台消化器・内視鏡内科クリニック長町院
- (2) 公益財団法人 宮城厚生協会 長町病院
- (3) みやざきクリニック
- (4) 渡辺内科胃腸科医院
- (5) 結城クリニック
- (6) くまがいクリニック内科・消化器科
- (7) 河原町病院
- (8) 矢口クリニック
- (9) 南大野田こいけクリニック
- (10) 鈴木研一内科クリニック
- (11) まきこ内科クリニック
- (12) あんどうクリニック
- (13) 佐々木悦子産科婦人科クリニック

4. 試験運用期間

令和 6 年 5 月 7 日（火）～令和 6 年 9 月 30 日（月）

5. アンケート調査

試験運用後の業務量の変化や運用してわかった問題点等を洗い出すため、対象医療機関に対して、アンケートを 7 月に依頼し、その結果を集計しました（裏面参照）。

アンケート調査結果報告書

1. 試験運用に伴う貴院の業務量について

- | | |
|------------|---|
| (1) 増えた | 7 |
| (2) 増えていない | 3 |

2. 増加した業務の内容について（複数回答可）

- | | |
|--------------|---|
| (1) FAX 送信業務 | 7 |
| (2) 事前準備の時間等 | 3 |
| (3) その他 | 0 |

3. 今回の試験運用で改良する点がありましたら、下記へご記入ください。

- ・事前 FAX の協力は可能な限りと考えているが、全診療科となると事務作業の負担は大きい。紹介への影響は医師・連携において大きな影響はないと思われるが対応者の負担は増えます。
- ・せっかく患者さん自身からの予約が大変好評で、市立病院にならって他の医療機関も FAX なしを採用している中、逆効果と思います。
- ・FAX を希望する場合、できれば必要な患者さんを選んで FAX なら助かります。
- ・消化器科、循環器科以外の紹介は他の医療機関に紹介しやすくなると思います。
- ・患者様に診療情報提供書をお渡した段階で事前 FAX を当日送付することは出来ませんが、後日、受診予約を取得された後に依頼されてもカルテ庫でのカルテ確認、医師確認等が煩雑となり作業としては大変でした。予約取得後の FAX 送信は難しいかと思いました。

4. 今後、当院にて全診療科で事前に診療情報提供書 FAX 送信を希望した場合、FAX 送信の協力について

- | | |
|-----------|---|
| (1) 協力する | 9 |
| (2) 協力しない | 1 |

5. 今後、当院にて全診療科で事前に診療情報提供書 FAX 送信を希望した場合、当院との医療連携（紹介）に影響を与える可能性はありますか

- | | |
|------------|---|
| (1) 可能性がある | 4 |
| (2) 可能性が無い | 3 |
| (3) わからない | 3 |